

第三者評価結果概要版（通所介護【デイサービス】）



○基本情報

法人名	社会福祉法人正吉福祉会
事業所名	デイサービスセンターこまえ正吉苑
所在地	狛江市西野川2丁目27番23号
連絡先	03-5438-0555

○事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）

- 1）わたくしたちは、二十一世紀における地域に根ざした福祉社会の新たな進展と多様な福祉文化の創出に積極的な役割を果たします。
- 2）わたくしたちは、利用者が、住みなれた地域での生活が続けられるよう、共に支え共に生きる地域福祉のまちづくりに寄与します。
- 3）わたくしたちは、利用者が、尊厳をもって、自分らしく自立した生活が送れるよう保健、医療と福祉を総合した支援に努めます。
- 4）わたくしたちは、利用者個人の尊厳が守られるよう、利用者の自己決定と選択を尊重し、利用者本位のサービス提供を目指します。
- 5）わたくしたちは、地域に開かれた経営とサービスの質の向上に努め、利用者やご家族が満足される価値ある「正吉苑」を創ります。

○全体の評価講評（特に良いと思う点）

【施設利用の目的を持っていただくように健康面に配慮しつつ楽しめる食事や活動等を専門職と介護職員が協力して支援しています】

施設利用の目的を持っていただけるように、食事を楽しく美味しく召し上がっていただくための選択食や季節に合わせた季節料理、行事食、鍋料理などの工夫や、趣味活動として陶芸や音楽、物作り、カラオケ、折り紙などを実施し、年度末には作品展覧会を行い、利用者も展覧会を目標に創作に励んでいます。この他リハビリでは歩行距離により富士登山や百名山登山などのコースを設定し、目的を持ってリハビリに取り組める仕組みがあります。専門職員と介護職員との連携により利用者のしたいことの実現に向けて協力して支援しています。

【利用者が在宅生活の中で主体的な活動や社会との関係を維持・向上するための支援体制づくりを進めています】

利用者が在宅生活を維持し地域と関わりながら生活していく事を目的に、実現可能な具体的目標を設定した機能訓練計画書の作成に努めています。例えば市のラジオ体操への参加や家で掃除をする、外出の頻度を維持するなど、意向を十分把握したうえで社会参加を見据えたプランを作成しています。リハビリにより歩行機能が向上し、利用者同士で誘い合ってコンサートに出かけるなど積極的に行動される方も出てきています。このように利用者の主体的活動や社会との関係を維持向上するために社会資源に関する情報を提供するなどの体制作りも進めています。

【送迎・入浴・体操・連絡帳の輪番担当制、チーム会議での勉強会を通じた業務改善の検討や接遇検討など、業務水準の底上げに努めています】

デイサービス事業に必要な送迎・入浴・体操・連絡帳記帳といったそれぞれの日常業務について、職員の理解が深まるよう輪番担当制を敷いています。職員一人ひとりが介助・支援手順の根拠や理由を理解することで、状況に応じた柔軟な対応ができるようチーム会議で振り返りを行い、ヒヤリハットや不適合の報告があれば、チーム会議で再発防止策の再評価をして再発防止について考える機会が作られています。また、介護に関する最新の知識と技術習得に向けた勉強会が計画的に行われているなど、全職員の認識の統一を図り業務標準の底上げに努めています。

○全体の評価講評（さらなる改善が望まれる点）

【支援の成果であるモニタリングや機能訓練による身体的効果と、在宅生活の目標達成状況を関係先に積極的に発信することが期待されます】

モニタリング力や観察力、記録の取り方の質の向上のため、チーム会議内で勉強会が行われており、職員の知識が確実に付くよう効果測定も行われたことにより、記録の内容の質の向上が見受けられます。その取り組みにより、利用者個々の支援計画の内容と日々の支援の質の向上も図られ、利用者の心身状態の維持・向上につながっています。支援成果が確認できるモニタリングの内容や、機能訓練によってもたらされた身体機能の向上による生活課題の解消効果など、在宅生活の目標達成状況を関係先に積極的に発信し、事業所価値を高めることが期待されます。

【利用者ニーズの多様化に対応するための重度化対応の体制づくりを早期に構築していく事が期待されます】

現在通所介護を利用している方が、重度になっても継続的に在宅生活を維持できるように支援していくことを部門目標に掲げています。この目標実現のため看護体制の充実や介護職員の対応力向上のために、複合施設の利点を生かして介護技術の特養に学ぶなど、今後介護職員の認識を高める取り組みを始め、徐々に受け入れを増やしていく予定です。医療ニーズや介護度の上昇など多様なニーズが加速している中、社会的期待に応えるためにも重度化対応の支援体制を早期に構築し、事例を積み重ねていく事が期待されます。

【地域資源情報の提供や地域ボランティアを施設活動へ有効に活用することで、利用者の生活の幅を広げることが期待されます】

ボランティア活動について市内の敬老会と連携し、ハワイアンバンドやマジックショーなどの演芸や書道や絵画などのクラブ活動の講師として活躍してもらっています。また、保育園や小・中・高等学校の児童・生徒との交流もあり、楽しみにしている利用者も多く日常生活に変化と潤いが持たられています。地域資源や地域ボランティアの有効活用に向けてボランティアコーディネーターを配置し、計画的かつ効果的に地域資源情報を提供し、地域ボランティアを施設活動へ有効に活用するなど、利用者の生活の幅をさらに広げることが期待されます。

○事業者が特に力を入れている取り組み

【目的を持って利用していただけるような食事や活動、リハビリに取り組んでいます】

施設利用の目的を持っていただけるように、食事を楽しく美味しく召し上がっていただくための選択食や季節に合わせた季節料理、行事食、鍋料理などの工夫や、趣味活動として陶芸や音楽、物作り、カラオケ、折り紙などを実施し、年度末には作品展覧会を行い、利用者も展覧会を目標に創作に励んでいます。この他リハビリでは歩行距離により富士登山や百名山登山などのコースを設定し、目的を持ってリハビリに取り組める仕組みがあります。専門職員と介護職員との連携により利用者のしたいことの実現に向けて協力して支援しています。

【在宅生活や地域との関わりを見据えた機能訓練の仕組みが機能しています】

利用者が在宅生活を維持し地域と関わりながら生活していく事を目的に、実現可能な具体的目標を設定した機能訓練計画書の作成に努めています。例えば市のラジオ体操への参加や家で掃除をする、外出の頻度を維持するなど、意向を十分把握したうえで社会参加を見据えたプランを作成し、次回訪問時には進捗状況を説明し、訓練内容を見直しています。3か月ごとに利用者宅を訪問することで具体的な働きかけが可能になり、ケアマネと一緒に訪問して残存能力を相互で確認し、利用者が持っている力を引き出す方法を提案しています。

○利用者調査結果

有効回答者数	28人
利用者総数	115人

■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ ■ 無回答・非該当

1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	89.0%	10.0%	いはい:0.0%	無回答・非該当:0.0%
2. 食事の献立や食事介助は満足か	89.0%	10.0%	いはい:0.0%	無回答・非該当:0.0%
3. 利用者が必要と感じた介助が提供されているか	71.0%	10.0%	17.0%	いはい:0.0%
4. 利用中の楽しい行事や活動があるか	67.0%	14.0%	17.0%	いはい:0.0%
5. 個別プランに基づいた事業所の活動（リハビリは、家での生活に役立つ）か	60.0%	32.0%	7.0%	いはい:0.0%
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	96.0%	3.0%	いはい:0.0%	無回答・非該当:0.0%
7. 職員の接遇・態度は適切か	89.0%	10.0%	いはい:0.0%	無回答・非該当:0.0%
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	75.0%	21.0%	3.0%	いはい:0.0%
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	64.0%	10.0%	21.0%	いはい:3.0%
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	85.0%	7.0%	7.0%	いはい:0.0%
11. 利用者のプライバシーは守られているか	85.0%	7.0%	3.0%	いはい:3.0%
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	71.0%	7.0%	7.0%	14.0%
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	64.0%	14.0%	17.0%	いはい:3.0%
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	60.0%	17.0%	17.0%	いはい:3.0%
15. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	39.0%	14.0%	10.0%	35.0%